

平成30年度 美術科年間指導計画 第一学年

担当 川越 良昭

学期	月	時数	学習内容			評価の観点と評価規準 評価資料・評価方法等				教材・教具
			領域・題材	指導目標	指導内容	美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力	
1	4 5 6 7	1	オリエンテーション 手形の自己紹介の説明	持ち物の説明 美術に対して心構え、図工、美術の違いを理解する	中学生として美術の学習のあり方の理解をし、美術を学ぶ意識を高め、表現をすことの意義を理解する	美術の創造活動に喜びを持ち、表現や鑑賞の能力を身につけるために、主体的に学習に取り組むことができる				スケッチブック、ワークシート 絵具(アクリルガッシュ) 鉛筆、練り消しゴム 筆洗、雑巾 四つ切り用紙 教科書・資料集 イラストボード
	2 3 4 5 6 7	2	「手形の自己紹介(平面構成)」 色彩について学ぶ	色彩論を楽しく学ぶ 色彩を整理し理解することにより改めて理解する	色彩の基礎を身につける 色の整理	生活の中で美術があることに関心を持ち、主観的に観察し、基礎的技能を身につけることができる	色彩から感じるイメージを通じ、発想や構想を工夫し、自分の考えを表現することができる	色の性質や分類について基礎的な知識を理解し、橋色など応用力を身につけることができる	完成した作品を鑑賞し、色彩がいかに自分たちの生活の中で感覚や感情に影響を及ぼすのかを再確認し、改めて色の持つ魅力を味わい、課題意識を持つことができる	
	8 9 10 11 12 13 14	3	レタリング、イラストレーション 「漢字アート～創作絵文字を描く～」 漢字1文字を創作する	明朝体、ゴシック体等レタリングの基礎を学ぶ 漢字1文字を創作する 画面構成と配色バランスの構築 相手を意識した上での見せる作品の意識	用途や目的に応じたレタリングの技術、知識を学ぶ 創作するという感覚を理解し、自らの思いを伝える手段として表現を楽しむ 色構成を組み立て、イラストレーションと組み合わせた表現方法を身につける	普段、見ている文字を書体などを理解した上で改めて関心を持ってみることができる 自分で内容に対して楽しむ取り組み、喜びを感じ積極的に取り組むことができる	レタリングの技法を駆使し、表現方法を創造するアイディアを積極的に取り入れることができる	自他の作品を鑑賞し、作品が持つ思いが伝わる実感を味わう 文字の持つ造形的要素、成り立ちを知り、伝えることの大切さを理解する		
	15	4	鑑賞 「絵画を見ること」 作品を観る心を養う	絵画、デザインの歴史に触れる	人に思いを伝えることに対してのに大切さに触れる それぞれ人が感じる価値観は違うことを知る	様々な作品を鑑賞し、興味をもって取り組むことができる			他者の作品を鑑賞し、意見を出し合う	スケッチブック、ワークシート
	夏期休暇	5	美術館鑑賞	美術館、博物館に行き、感想をレポートする	本物の作品を見たときの感動をしっかりと文章化して伝えることができる	美術作品に関心を高め、好きな作品について主体的に資料などをを集めレポート作成することができる				ワークシート、レポート
	9 10 11 12	6	立体作品 「仮面製作～もう一人の自分、ペルソナ～」 仮面を作つて内側の自分を知る	ユングの心理学「ペルソナ」に触れる 世界の仮面の歴史を通じ人間だけが持つ感情に触れる	自分を振り下げもう一人の自分を感じ取り表現する 平面での設計図を検討元に立体に起こすまでの経験をし、素材の特性を理解し表現に繋げる	ユングの心理学よりを知る「ペルソナ」を知ることで仮面に関心を持つ 仮面が存在する意味や歴史に触れる	スケッチ等、ワークシートの段階を充実し、自分の内面を具体的に構想することができます	平面図から立体にしていく工程を体験することができます	仮面を装着した写真を撮影し、新たに発見した自分の気持ちを文章にしてみる 他の作品鑑賞を通して改めてその人を知る	仮面芯材 木工ホンド スケッチブック、ワークシート アクリルガッシュ 教科書・資料集
	11 12 13 14 15	7	鑑賞 「向のためには仮面は作られた？」 仮面の歴史、西洋、東洋の美術の変遷	西洋、東洋の芸術に関して違うところ、似ているところを感じる 仮面の歴史を通して美術に関心を持つ	仮面における西洋、東洋の文化の相違などを通して改めて日本の伝統を理解する	資料等から得た情報を積極に鑑賞し、意欲を持って理解を深めようとしていることができる			その土地や歴史に根付き育まれてきた仮面の特徴や相違点と共に通性を理解し、国際理解を深めることができます	スケッチブック、ワークシート
	1 2 3	8	繪画 「抽象画に挑戦」 モダンテクニックを学ぶ	自分のイメージの表現に役立つテクニックを習得する	作品を創作するにあたって、表現意図に応じた技法を選択することができる	モダンテクニックの技法を学び表現することを更に関心を持つことができる				スケッチブック、ワークシート 絵具(アクリルガッシュ) 鉛筆、練り消しゴム 筆洗、雑巾
	9 10 11	9	「見えないものを表現しよう」	目に見えないモチーフをどう表現するかを理解する 様々な素材を使用し、偶然の面白さを引き出す	自分の身の回りにスポットを当てることで、それに伴った表現方法を選択し、さらに工夫し、作品にすることができる	目に見えないモチーフを探すことの経験をして、自分から作品に結びつけるための材料などの收集を通じ作品に対し味方や捉え方を複合的に関心を持って取り組むことができる	五感を駆使しイメージを増やすことができる 設定したテーマに対して表現方法の構築ができる	表現の手段として偶然性の効果を利用し、色や形を創造することができる	他者の作品を鑑賞し、作品の思いが伝わった時の感動をお互いに体験することができます	
	10 11	10	鑑賞 「抽象画って何？」 絵画の世界の扉を開ける	カンディンスキイ、シャガールの作品を鑑賞し、表現に隠された面白さを味わう	各作家の代表作とともにその時代背景、心情、作風に觸れ、より深く表現する喜びを理解する	形状や色彩による印象、や、作者の心情、意図と表現の工夫を主として感じ取ろうとしている	評価資料・評価方法等 活動の様子、ワークシート、スケッチブック、作品	評価資料・評価方法等 活動の様子、ワークシート、スケッチブック、作品	評価資料・評価方法等 活動の様子、ワークシート、スケッチブック、作品	形や色の特徴や個性を味わい、作者の魅力や思いと関連付けて鑑賞することができます